

食育事業取組報告書(東中学校)

食育活動区分	(該当するものを口で囲む) 育てる・作る・食べる・返す	実施年月日	10月12日
教科名	総合的な学習(キャリア教育)	指導者	本間 誠道 神田 佳子 波多野 陽子 近 賢太郎 高橋 悠斗
単元名	農家訪問		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・農家の方の苦労ややりがい、地場産食材への理解を深め、地元農家の方への感謝の気持ちを育む。 ・新発田市の「食の循環によるまちづくり」について理解を深め、食に対する関心を高める。 		
児童・生徒の活動		支援・指導上の留意点	
<p>1 農家訪問ガイダンス、訪問先希望調査 2 班編制決定 役割分担 追求テーマ決め 3 事前調べ学習(2時間) 4 質問内容作成 あいさつ・質問練習 5 農家訪問(2時間) 6 調べ学習まとめ(2時間) 7 発表原稿作成・練習 8 発表会(2時間)</p>  <p>1年総合的な学習 しばたの心継承 ~地域を知り地域に愛着~</p> <p>農家訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶調べた内容をもとに実際に農家を訪問して ▶質問をしたり話を聞いたりする。 		<p><事前学習> 作物の種類や歴史、基本的な栽培方法や時期、新発田産の特徴、栽培する上での工夫や苦労、おいしく食べるコツや調理方法等、具体的に調査、質問できるよう支援する。</p> <p><農家訪問> 生徒の安全を確認し、追求テーマに沿った、自主的な活動ができるよう支援する。 体験をとおり、農家の方の思いや、仕事の喜びに触れることができるよう、支援する。</p> <p><事後学習> 行ったことの羅列にならないよう、重点的に発信したいことを、班で話合わせ、新発田の良さ、農業の喜び、自分の思いが表現できるよう、支援する。</p>  	
成果と課題	<p>学区の農業の様子、新発田市の農業の特徴について理解を深めた。 農業の楽しさ、喜びに触れるとともに、学校の活動が地域の方々に支えられて成立していることを実感することができた。</p>		
家庭・地域との連携	<p>地域CDが中心となり、訪問先との渉外を行った。例年の活動として、地域に定着しており、お米、牛肉、酪農、バラ、ブロッコリー、いちご、山の芋、オータムポエム等、学区内の農家の皆様に快くご協力いただいた。</p>		